

具体的な研究内容

森林リモートセンシング深層学習

- ・ 多源センサーデータ収集処理・解析: ドローン・バックパックレーダー、ハンドヘルドレーダー・衛星リモートセンシング
- ・ リモートセンシングデータ生成・再構築
- ・ 森林パラメータ抽出
- ・ 「深層学習訓練+下流タスク適応最適化」パラダイム

国立公園自然・文化資源保護・開発

- ・ 国立公園発展史・管理戦略比較研究
- ・ 国立公園自然・文化資源の保護と開発
- ・ 国立公園自然資源の監視

研究目標

森林の過去、現在、未来、そして人間と環境との相互関係を理解することが極めて重要です。林業リモートセンシング深層学習を土地利用変化研究、森林回復・造林、森林炭素バイオマス監視などの林業監視・管理に応用します。「天・地・空」マルチプラットフォームリモートセンシング技術（ドローン・ハンドヘルドレーダー・バックパックレーダー・衛星）と画像処理・人工知能を組み合わせ、森林管理と文化保護に応用し、森林の自然資源と文化資源の持続可能な開発利用と保護の実現に取り組みます。